

第3回黒部川流域懇談会 議事要旨

開催日時：平成20年10月20日（月）14:00～16:00

場 所：黒部市民会館（2F 会議室）

議事次第： 1. 開 会

2. 挨拶

3. 出席者の紹介

4. 議 事

1) 第1回および第2回黒部川流域懇談会概要について

資料-1

2) 第2回黒部川流域懇談会指摘事項について

資料-2

3) 河川整備目標流量について

資料-3

4) 河川整備計画の骨子について

資料-3

(1) 洪水を安全に流下させるための整備

(2) 河川環境の保全

(3) 河川管理

(4) 総合土砂管理

5) 第4回黒部川流域懇談会について

資料-4

5. 質 疑

6. 閉 会

■議 事

1) 第1回および第2回黒部川流域懇談会概要について

2) 第2回黒部川流域懇談会指摘事項について

[主な意見]

(座長)

- ・ 整備計画の素案とは、どういうものをイメージしているのか。

(事務局)

- ・ 整備計画の形に則り文章化することである。「課題」として挙げているものに対してどのように対応していくのかを中心に書きたい。

3) 河川整備目標流量について

4) 河川整備計画の骨子について

[主な意見]

【目標流量について】

(委員J)

- ・ 目標流量には、今後想定される気候変動の影響を考慮する必要があるのか。

(事務局)

- ・ 気候変動の影響については、この計画の中では危機管理で述べなければならないと認識している。目標流量は、基本的には2日雨量で考えていく。

(座長)

- ・ 30年の整備計画期間で異常降雨により災害が起こったときには、国の責任として、目標流量を見直し整備計画を変更していく必要がある。

(委員H)

- ・ 昭和44年8月洪水の時間雨量データは残っているのか。

(事務局)

- ・ データはあるので、次回提示する。

(座長)

- ・ 目標流量を事務局案(5,700m³/s)とすることを了承する。

【整備計画の骨子について】

(委員B)

- ・ 渇水時における河川維持流量の考え方は、整備計画では変更するのか。

(事務局)

- ・ 河川整備基本方針で示されている正常流量4.5m³/sを確保していく。

(委員L)

- ・ 今年はサケが去年の半分しか捕れておらず、水量が少ないことが原因であると考えられる。サケやアユに配慮するため、非かんがい期などに河川に水を多く流して欲しい。

(委員H)

- ・ 非かんがい期においては、農業水路に土砂が堆積しないように必要な水を流している。

(座長)

- ・ 河川管理者としては、黒部川流域の水利用実態をよく考えて、限られた水資源の活用を関係機関とうまく調整していくことが必要である。整備計画に触れておく必要がある。

(委員K)

- ・ 水がないため、マルタニシ等が生きていけない現状を度々見かける。今年は水量が少ないようだ。

(委員G)

- ・ 左岸河口部の湿地帯も乾いてきているが、原因は何か。

(事務局)

- ・ 現地を確認し、その結果を踏まえて回答する。

(座長)

- ・ 気候変動により雨の降り方が変わるため渇水の頻度が増すことも想定される。黒部川

は治水が大事であるが、環境も大事である。左岸河口部の湿地帯をしっかりと守る事が必要。専門家と相談すること。

(委員 F)

- ・ 瀬・淵をつくっても流量が少なければ機能しない。流量の問題を整理してほしい。
- ・ 宇奈月ダムは、維持流量に対しどのように運用しているのか。

(事務局)

- ・ 正常流量 $4.5\text{m}^3/\text{s}$ をどう確保していくかを検討していく。

(座長)

- ・ 宇奈月ダムの計画や役割を、次回提示すること。
- ・ 洪水時の土砂の移動（堆積や洗掘）や流下能力より大きい洪水流量が流れたという事実については、もう少しわかりやすく説明することが必要である。さらに、河口部であればどのような調査が必要であるか、具体的に示して欲しい。モニタリングについても整備計画に示すこと。

(委員 G)

- ・ 常願寺川の平成 7 年 7 月洪水では、激流が流れるときよりも水が引くときに河岸侵食が発生している。このような違いを解析で表現できるのか。

(事務局)

- ・ 水面勾配の違いを考慮することによって計算に反映されている。

(委員 C)

- ・ 防災訓練等を実施しているが、実際災害が発生したら機能するものなのか。各地区がどこまで防災に対してしっかり対応できる状態になっているのか。

(委員 J)

- ・ 自主防衛組織は 100%ではない。洪水、高波、地震など、いろいろな災害が想定され、それらをトータルで示すのは難しい。自治体としては防災に関する情報の提供はしていくので、自分たちの防衛をしっかりして欲しい。

(委員 K)

- ・ 杉沢の杉など、今年は湧水の出るのが遅かった。地下水水位が下がってきているのではないか。

(事務局)

- ・ 堤内地の地下水のデータは持っていないが、わかる範囲でデータを提示する。

(座長)

- ・ 地下水については、河川に関連する流域の視点で整理すること。

(委員 D)

- ・ 土砂管理の排砂は整備計画にどのように位置づけられているのか。

(委員 L)

- ・ 最近、大きな石が少なく細かい砂が多くなっている。宇奈月ダムとの関連性はどうか

のか。

(座長)

- ・ 過去の砂利採取が主要な原因であると考えられる。大きな石は河川環境、川の安定といった観点からも非常に重要であるため、整備計画に土砂管理について書き込んでもらいたい。
- ・ 本日の意見を踏まえ、ここに示された骨子を河川整備計画に文章化していくことを了承する。

5) 第4回黒部川流域懇談会について

- ・ 異議なし。

－以 上－